このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

E769Z346H20

保管用

三菱LED照明器具 ［５～100%連続調光形］

スクエアライト　直付・半埋込兼用形　□530

形名　EL-SC8000NM AHZ　EL-SC8000WM AHZ　EL-SC8000WWM AHZ　EL-SC8000LM AHZ

取扱説明書

○この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。またアフターサービスもできません。
○電源周波数 50Hz、60Hz 共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

施工者さまへ

○施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください。　必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止

- 引火する危険のある雰囲気で使わない。（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない）　（火災の原因）
- 天井直付、半埋込兼用器具です。傾斜天井、補強のない天井には取付けない。（指定外取付は、火災・落下の原因）
- 配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。（絶縁破壊により感電・火災の原因）

禁止

- 電源線を器具の外郭に直接触れさせない。（過熱して火災の原因）
- 器具取付けの際は電線を挟まない。（絶縁不良により感電・火災の原因）

厳守

- 施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程に従って行う。

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止

- 高温（35℃を超える）、高湿（85% RH を超える）、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所で使わない。（落下・感電・火災の原因）
- さびの出やすい場所、腐食性ガスの出る場所で使わない。　（劣化による落下の原因）
- 器具を乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。（絶縁不良やさびにより感電・落下の原因）

禁止

- 屋外や風呂場など水や湿気の多い場所で使わない。一般屋内用器具です。（火災・感電の原因）
- 雨水のかかる場所で使わない。（水気・湿気が入り感電の原因）
- 器具の外郭を天井内の造営材・ダクトに触れさせない。　（火災・感電の原因）
- 表示された電源電圧以外では使わない。特に定格電圧の90%以下の電圧使用は、電源ユニットの短寿命、故障となります。　（火災・感電の原因）

お願い

■周囲温度は 5～35℃の範囲でご使用ください。
■硫黄成分を含む温泉地など、腐食性ガスが発生する場所での使用はお避けください。光学特性等に不具合が発生することがあります。
■器具と半導体スイッチ式人感センサスイッチを組合せるとチラツキや騒音の発生、電源ユニット故障の恐れがあります。リレー接点式人感センサスイッチをご使用ください。
■油煙のある場所では使わないでください。（光学特性が低下する原因となります。）
■電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
■電源スイッチに片切スイッチを使用する場合、片切スイッチを電源の高圧側に設置してください。200V 電源をご使用の場合は両切スイッチを使用してください。スイッチを切っても微放電する現象の原因となります。

定格電圧	周波数	入力電流（A）			消費電力（W）			LED 光源寿命（光束維持率 85%時）
		100V	200V	242V	100V	200V	242V	
AC100-242V	50/60Hz	0.59	0.30	0.25	58.9	58.3	57.6	40,000h

お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止

- 器具の改造や指定部品以外の交換はしない。（火災・感電・落下の原因）
- 器具を布や紙などで覆わない。（可燃物をかぶせて使うと火災の原因）

禁止

- 器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。（火災・感電の原因）

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止

- お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です。　（火災・感電の原因）
- 器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。　（過熱して火災の原因）
- 光を直視しない。（長時間直視すると目を痛める原因）

厳守

- 器具は指定の制御装置と組み合せて使う。（過熱して火災の原因）
- 明るく安全にご使用いただくために半年に１回の保守・点検を行う。

●照明器具には寿命があります。設置して８～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。LED 光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。
※使用条件は周囲温度 30℃、1 日 10 時間点灯、年間 3000 時間点灯です。

●周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
●３年に１回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
●点検せずに長期間使用し続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

器具の取扱い

■テレビ、ラジオなどの音響機器や、赤外線リモコン、ワイヤレス機器などに、雑音や動作不良を起こす場合があります。
■器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に作動しない場合があります。
■放送設備などの音声信号や映像信号は微弱なため、電源線や安定器の配線からの雑音を受けることがあります。

器具の清掃 ―⚠警告　電源スイッチを切ってから行う（感電の原因）

<器具のお手入れについて>
器具の汚れは、柔らかい布をうすめた中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。
シンナー、ベンジン、みがき粉やたわし、熱湯、アルカリ性洗剤、薬品などは使用しないでください。

<カバーのお手入れについて>
カバーはキズつきやすいのでメガネ拭き等柔らかい布で拭いてください。

⚠注意
点灯中及び消灯直後の器具には触らない。（高温のためやけどの原因）

知っておいていただきたいこと

○誘導及び空間波無線に対する影響
使用周波数が数百 kHz の誘導無線（同時通訳システム）及び数百 MHz の空間波無線の場合、雑音が入ることがありますので事前確認することをおすすめします。
100V 電源の場合には、接地工事することにより低減できる場合があります。

○点灯、消灯時にカバー、反射板の収縮・膨張により、きしみ音が発生する場合がありますが、異常ではありません。
○連続調光の下限域で使用する場合、器具ごとの明るさがばらつくことがあります。予めご了承ください。
○長くご使用頂くと、カバー内に小さなほこりなど侵入するおそれがありますが、性能には影響ございませんので、予めご了承ください。

保証について

■無償修理
照明器具の商品納入日より１年間、また照明器具に内蔵されている LED 光源・電源ユニットは３年間です。
※保証期間と保証内容についての詳細はカタログを参照ください。

■無償提供
LED 光源・電源ユニットの故障による不点灯不具合につきましては、代替商品または LED 光源・電源ユニットを５年間無償提供させていただきます。

お　願　い

●LED 素子にはバラツキがあるため、器具内の個々の LED や同一形名の器具でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
● LED 光源の交換はできません。交換の際は器具ごと交換ください。
●壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。ご了承ください。

異常時の処置

⚠警告
煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源を切る。（火災・感電の原因）
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

この説明書は、再生紙を使用しています。

三菱電機株式会社
連絡先　三菱電機照明株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船2-14-40
☎(0467)41-2729（営業本部）
☎(0467)41-2773（品質保証部サービス課）

各部のなまえと取付けかた

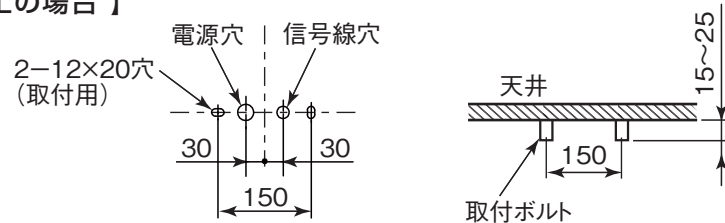
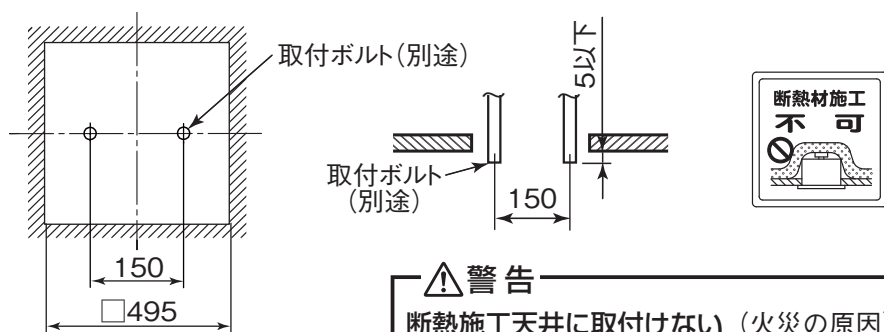
⚠警 告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）

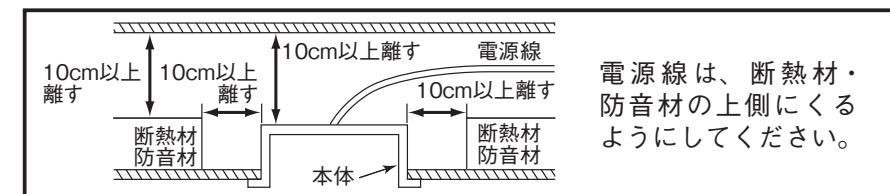
1 取付前の確認

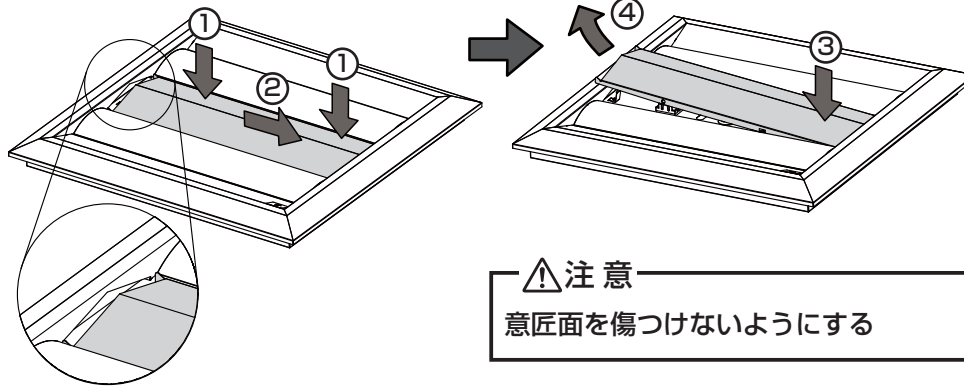
○器具質量（約 4.4kg）の 10 倍以上（1ヶ所あたり）に耐えるよう、器具取付部の強度を確保する。
・取付ボルトを使用の場合は、W3/8 または M10 を使用する。

⚠警 告
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける
（落下の原因）

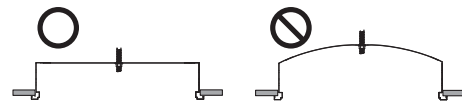
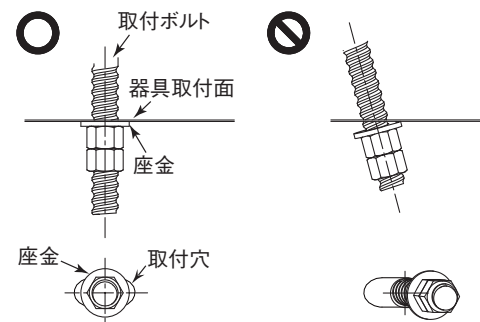
2 天井に取付用穴をあける ＜施工ボルトの出しろ（単位 mm）＞

【 直付施工の場合 】

【 埋込施工の場合 】 ○埋込穴、取付ボルトを図のように用意する。
○埋込の場合：天井切込穴 □495mm

⚠警 告
断熱施工天井に取付けない（火災の原因）

断熱材・防音材をご使用の場合は、次の取付条件をお守りください。

3 反射板を取外す

○反射板を下記の手順で取外す。
①反射板の両端を垂直に押し込む。
②押し込んだまま水平方向にスライドさせる。
③片側を押し込んだまま、反対側を持ち上げる。
④意匠面を傷つけない用、気をつけながら反射板を抜き取る。

⚠注 意
意匠面を傷つけないようにする

4 本体をボルトに取付ける

(1) 電源線・アース線・信号線を器具本体のブッシュ付電源穴・信号線穴から引き込んでおく。
(2) 本体を取付ボルトに取付け、ゆるみ止め施工を確実に行う。
（ゆるみ止め：ダブルナット・歯付座金・ばね座金など）
ナットの締付トルクは 0.7 〜 1 N･m です。

(3) 取付ボルトが器具取付面と垂直であることを確認する。（下図）

⚠警 告
取付けが不完全な場合
落下の原因

5 電源線を電源端子台に接続する

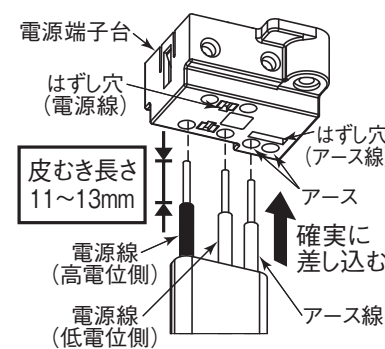
(1) 電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。

⚠警 告
接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因

(2) アース線を差し込み穴に確実に差し込む。

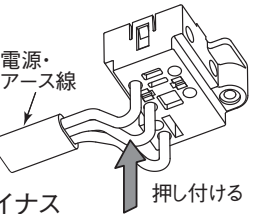
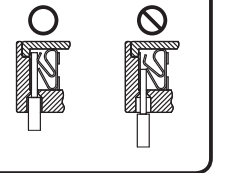
⚠警 告
アース工事は電気設備の技術基準に従い行う（アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因）

＜ D 種（第 3 種）接地工事が必要です。＞

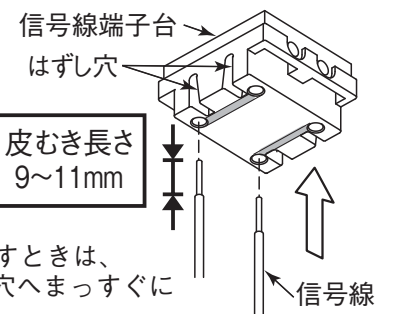
○電源端子台の容量は 20A です
○適合電線：φ1.6mm 単線 φ2.0mm 単線

⚠警 告
送り配線は照明器具専用とし、容量を確認して接続する（容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因）

⚠警 告
電源の接続は適合太さの電源線を指定長さに被覆をむき、1本ずつ速結端子の奥まで差し込む（差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因）

(3) 電源線（アース線）の挿入部は反射板との当たりを防ぐため電源端子台に押し付けるように小さく曲げる。

○電源線を電源端子台から取り外すときは、幅6mm のマイナスドライバーを、はずし穴へまっすぐに差し込んでください。

6 信号線を信号線端子台に接続する

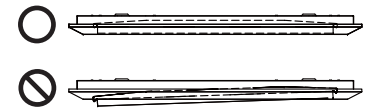
○信号線を信号線端子台の差し込み穴に確実に差し込む。
適合信号線 φ 0.9mm 〜 φ 1.2mm
CPEV-1P
接続が不完全な場合、動作不良の原因となります。

○信号線端子台に接続された信号線を取り外すときは、幅 6 mm のマイナスドライバーを、はずし穴へまっすぐに差し込んでください。

⚠警 告
信号線端子台には電源線を接続しない
（過熱・損傷し火災の原因）

7 反射板を取付ける

○「**3 反射板を取外す**」の逆の手順で反射板を取付ける。

⚠注 意
意匠面を傷つけないようにする

⚠注 意
取付けが不完全な場合
落下の原因

8 モードの動作説明

○本器具は壁スイッチ操作により点灯モードを『標準出力モード（全光）』−『初期照度モード』の２段階に切り替えることが可能です。
点灯モード切替のご注意は、別紙『E769Z197』を参照してください。